

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 5 月 1 日

事業所名 オールケア寝屋川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		少しでも広く使用できるよう、物の配置等を考えている	更に安全なスペースが確保できるよう、日々の整理整頓に努めていく
	2	職員の配置数は適切である		<input type="radio"/>	適切な配置人数ではあるが、よりよい支援のために他部署の応援もお願いしている	より充実した支援をするため、今後も他部署との連携を図り体制を強化していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		建築時にバリアフリー化している	危険がないよう環境の整備にも努めていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			PDCAサイクルについて更にスタッフへの周知を徹底していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		アンケートやモニタリング時に頂いた意向を活用し改善に努めている	アンケート結果をしっかり受け、業務改善に努めていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			今後もイベント開催時等、ブログ(ホームページ)等にて公開していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	法人内の内部監査にて業務改善にとりくんでいる	内部監査の評価結果にて業務改善につとめる
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		事業所内研修や外部研修があれば周知し参加している	今後も積極的に参加していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		定期的な面談を行い、スタッフに周知し以降の計画を作成している	モニタリングやアンケートでの課題をスタッフ同士で考えより良い計画作成に努めます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		契約時よりアセスメントシートを作成し、必要時に更新している	スタッフ皆で意識し、適宜アセスに目を通し把握できるように努める
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			より具体的な内容を思索していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		会議等でスタッフ間で話し合い提案しあっている	更に新しい活動ができるよう工夫していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		<input type="radio"/>	会議にてスタッフ同士で提案している	きめ細やかな支援ができるよう心がける
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		個別支援計画に組み込み、個々の特性を把握しながら支援に努めている	更に新しい取り組みができるよう努めていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼・終礼時に流れの確認をしている	流れだけでなく当日来所予定の利用児の把握もしていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		送迎終了後に終礼を行い、振り返りを行い記録におこしています	更に密な情報を共有できるよう努める
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		行った支援は記録におこしている	日々の記録を参考に次の課題へと繋げ、より細やかな記録にしていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		定期的にモニタリングを行い、計画も見直しを判断している	今後も継続していく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>			今後、スタッフとも共有しあいながらバランスを考え総則の内容に沿った支援を行う
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者はじめ、普段から関わっているスタッフや看護師が参加している	今後も各ご利用者様にとってサービス向上のために相応しい者が参画していく

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		学校の年間行事等把握し、保護者との連携を図り連絡調整に努めています	今後も年間行事や予定を把握しながら保護者との連携を密に連絡調整に努めます
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		家族様を介して主治医の指示書をいただいています	指定病院の連絡先もお聞きしているが、変更等あれば迅速に対応していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		園より就学時のお話を聞かせていただき、活動内容も見学させていただいている	保護者同意の上、見学や情報共有ができよりよい支援につなげられるよう努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		グループ内では見学や一日体験をする機会を設け、他事業所に関しても必要であれば情報交換の場を設けている	今後も個人情報に十分配慮しながら、保護者了承の上、提供をおこなう
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		専門機関へは必要に応じて助言や研修を受けている	相談支援含め助言いただき研修で習得したことはスタッフにも周知していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>		今後も訪問等がますますの交流につながるよう働きかけをしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>		必要に応じ、参加できるよう努める
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		経過記録や送迎時に直接お話を聞き、日ごろの様子やご希望を聞けるようにしている	今後も保護者との連携を図り、共通理解を持てるよう努める
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		<input type="radio"/>	必要時には行っている	今後も個々にあった支援を行えるよう努めていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に重要事項説明書等により説明を行っています	スタッフが質問された時にもお応えできるよう努めていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		モニタリング等に対応している	必要時には、その都度時間を設けて対応していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		必要性を感じないとお答えもあり、参観等通じて自然に交流できるような機会を設けていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		児童や保護者からの苦情には迅速な対応を心掛けている	今後も迅速に対応できるよう心がけていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		<input type="radio"/>	不定期ではあるが当社のホームページなどを活用し、事業内容を発信している	随時、ホームページや広報での事業所の活動状況を配信していく
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		配慮している	スタッフに対しての注意喚起をしていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		配慮している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		行事の前には近隣の方や学校のチラシ配りや外壁のチラシ貼りをしている	地域に根ざす事業所になるよう努める
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		契約時に説明し、変更あればその都度お手紙にて周知している	それぞれのマニュアルも作成している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		安全管理委員会が主となり災害を想定した訓練を行っている	継続し行い、前回の反省点を次回の訓練につなげていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		虐待防止・権利擁護の外部研修に参加している	外部研修に参加した者が全体会議やミーティングにて研修をおこなう

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		定期的に必要性を考え、個別支援計画に記載している	契約時に説明を行い、了承を得ていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者の聞き取りと、医師の診断書にて把握している	アレルギーの変化があれば随時対応をしていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		周知・共有し安全管理委員会などでも話し合っている	今後もスタッフ間で周知し事故防止に努める

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4 年 5 月 1 日

事業所名 オールケア寝屋川

保護者等数(児童数)

15名 回収数

15

割合

100 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2	1	1	もう少し広いほうが良い	日頃より整理整頓を行うなど工夫をしている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1	0	1		基準を満たした配置を行っている
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	1	0	0		建物を建てる際にバリアフリーにしている
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	0	0	0		スタッフ間でも周知し、計画にあった支援を行うようにつとめている
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	0	0	0		個々によって活動の中で常に工夫していく
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	8	今はコロナ禍で仕方ないと思う	長期休暇などに近隣の公園等に出かけることがあるが、感染に注意しながら今後も機会を作る
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	0		今後もノートや送迎時にて連携を図っていく
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	3	7		感染予防に努めながらできる事をしていきたい
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0	0	2		今後も苦情やクレームについては迅速に問題点と改善点を出し対応していく
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	0		経過記録での保護者・事業所の記入欄や送迎時、場合によっては電話での申し送りに努めている
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0	0	2		今後もイベント時にはブログ(ホームページ)の更新を行っていき、機関紙の更新も継続していく
14 個人情報に十分注意しているか	14	0	0	1		契約時には同意書をいただき、スタッフの意識向上に努めていく	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1	0	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2	0	3		1回/月の避難訓練を継続し、施設内の備蓄品も整えていく
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	0	0		利用児様の個性に合わせて楽しんでいただけるよう質の向上に努める
	18 事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0		ご家族との連携を図り、今後も楽しんでいただけるよう工夫していく

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。